

令和3年度 さいたま市立岸町小学校 学校関係者評価書

さいたま市立岸町小学校
学校関係者評価委員長 長島 淑子 印

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数 15名

- | | | | | | |
|-----------|----|---------|----|------------|----|
| ・地域住民代表 | 2名 | ・公民館長 | 1名 | ・チャレンジスクール | 1名 |
| ・青少年育成会代表 | 1名 | ・関係中学校長 | 1名 | ・保護者 | 3名 |
| ・民生児童委員 | 2名 | ・関係幼稚園 | 1名 | ・本校職員 | 3名 |

(2) 実施回数 3回（内1回は紙面開催）

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- コロナ禍にもかかわらず、児童の「学校は楽しいです」への肯定的評価が92.0%で、昨年度より+5.3ポイントとなっていることは素晴らしい。先生方の努力の賜物である。来年もまだまだこの状況は続く可能性があるため、是非継続していただきたい。
- 「先生は相談にのってくれる」「先生はよいときはほめ、いけないときは叱ってくれる」が9割を超えている。先生方の努力が報われ、保護者との信頼関係を築けている証拠であると思う。
- 「あいさつ」は、小学校の教えが中学校にも確実に生きるため、是非あきらめずに継続して指導していただきたい。
- 働き方改革は、教員の意識だけでは解決できないと思うが、「転ばぬ先の杖」としての、ちょっとした気遣いが、トラブル回避につながることは日々実感している。
- 「授業が分かりやすい」が9割なのに対し、全国学力の「無回答率」が市の平均を上回っている点が気になった。失敗を恐れない、あきらめずに粘り強く挑戦する子どもを育てる手立てを一緒に考えていきたい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- 昨年度との比較で、児童の回答「学校は楽しいです」への肯定的な評価が92.0%で、伸び幅も昨年度より+5.3ポイントと一番高かった。コロナ禍ではあるが、できることを工夫して行う姿勢が、子どもに反映されたことは喜ばしく、継続していきたい。
- 保護者の経年変化で「先生は相談にのってくれる」が93.9%で、伸び幅が一番高く+7.9ポイントだった。また「先生はよいときはほめ、いけないときは叱ってくれる」が今年度97.1%で11項目中の最高値だった。共に教員の対応に関する設問で高評価を得られたことは教職員の大きな自信につながる。維持できるよう一層意識を高める。
- 「あいさつ」「きまりを守る」は、三者共に今年度の最低値であったり比較での一番の下げ幅だったりした。感染防止のための決まり事が多く、期間が長引くに連れ緩みがちになる。マスクをしての挨拶もしづらと思うが、会釈の励行等、児童を励ましながら一層の工夫を試みる。
- 教員の「働き方改革」への肯定的評価が68.2%と最低値であり、昨年度からの下げ幅も最も大きかった。結果は真摯に受け止め改善を図る。ハード面での改革には限界があるため、意識改革を進めたい。研修を行い、限られた時間の中で効率的に職務を遂行する、トラブル回避が働き方改革の一番の近道であること等の意識を高める。
- 来年度に向け、学校運営協議会準備会を進める中で、児童に表現力やコミュニケーション力をつけることが課題となった。「あいさつ」への取組もこれに合致する。学校評価の対応をコミュニティ・スクールでの実践に生かしたい。

さいたま市立岸町小学校長 笠原 実 印